

みんなで使おう文化ホールプロジェクト 会議開催結果

会議名	開催日時	場所	参加人数
令和８年度第１回一志みんなで使おう文化ホールプロジェクト推進会議	６月２５日（木） １８：００～２０：２０	一志農村環境改善センター 大会議室	１８人
<u>＜内容＞</u> ●開会挨拶（スポーツ文化振興部文化振興課長） ●プロジェクトの概要説明（スポーツ文化振興部文化振興課事業担当） ・第２世代交付金事業の概要、一志みんなで使おう文化ホールプロジェクトの概要とスケジュール、ソフト事業について他市の事例について説明。 ●施設見学（一志総合支所地域振興課） 各会議室、和室、調理実習室、調光・音響室、ホールを案内。 ●グループワーク（意見交換） 以下の流れでホールの設備改修や利活用に関する意見交換を実施。 ・「ホールでやってみたいこと、観てみたいこと」「こんな設備や機能がほしい」「どうすればホールを利用してみたいか」「こんなホール（地域）にしたい」の４つのテーマに対する意見を各自で付箋に記入してもらう。（約１０分） ・３グループに分かれて、テーブル上の模造紙に各自の意見をテーマ別に貼り付けながら意見交換を行う。（約３０分） ・グループごとに発表を行う。（各グループ５分程度） ●その他（スポーツ文化振興部文化振興課事業担当） ・津市公式ＬＩＮＥ及びみんなで使おう文化ホールプロジェクトメンバー登録の案内 ・アンケート記入の案内 ●閉会挨拶（一志総合支所長） <u>＜グループワークにおける主な意見＞</u> ●ホールでやってみたいこと、観てみたいこと ・プロのアーティストに声をかけ、指導してもらい発表会をする（演劇、スポーツ、音楽等） ・大会などの催物（ダンス、ｅスポーツ、音楽祭等） ・スポーツ観戦や映画上映会 ・一志米などの地域のものを使った親子料理教室 ・コラボイベント（子どもたち、地元講座・サークル、アニメ、キャラクター等） ・親子で参加できるイベント（リトミック教室、ベビーマッサージ教室等） ・交流会（地域、農業、工業、商業、学生、歴史・文化等） ・学生たちの居場所づくり（学習、学生イベント企画等） ・フリーマーケット、マルシェ、演劇、ライブ（お笑い、音楽） など ●こんな設備や機能がほしい ・舞台照明の強化（機能、より使いやすく）			

- ・音響設備を使いやすく（舞台袖で操作できるなど）
- ・スリッパに履き替えなくてもよい施設の使い方
- ・スリッパに履き替える際に座る椅子
- ・ホールの絨毯の取り換え
- ・トイレが狭く使いにくいいため広くしてほしい
- ・現在は階段しかないが高齢な方も多いためエレベーターが欲しい
- ・控室利用できる諸室の整備
- ・ホール内冷暖房の強化
- ・舞台裏が狭いためスムーズに使える工夫
- ・駐車場の拡充
- ・親子スペース
- ・誰もが使えるフリースペース
- ・学生の学習になるような資料の設置
- ・ワイヤレスマイクの補充や大型スクリーンの導入
- ・カフェスペース など

●こんなホール（地域）にしたい

- ・子どもたちが来たくなるような施設
- ・いろんな方々が交流できるような場所
- ・使用年齢層を幅広く
- ・みんなでつながれるような場所
- ・一志校区の方たちが同窓会の延長で気軽に集ってもらえるような場所
- ・イベント以外にも活用できる場所
- ・学校や地域をターゲットにしたイベントができる場所
- ・行政や文化事業への協力度アップ

●ホール（地域）の課題だということ

- ・駐車場が少ない
- ・イベントやイベントの案内が少ない
- ・もっと施設を知ってもらうべき（使い方やどんな諸室があるのか）
- ・どんな方でも気軽に使ってもらえるような工夫（若者は敷居が高く感じる、利用や申し込みのしやすさを検討すべき）
- ・既存のものを使いやすいとする工夫（スリッパへ履き替え、舞台裏が狭いがどう使ったらスムーズか等）
- ・施設名称の変更（一志農村環境改善センターから一志文化会館や一志文化ホールに）
- ・集客や参加者見込があまりないのでは？
- ・高齢化も進んでいるため交通手段の確保が難しい
- ・利用率は他と比べて高いが、内訳を調査し今後行うイベント等の参考にすべき
- ・脱昭和感
- ・どんな世代でも楽しんでもらえるような企画立案が難しい
- ・イベントの立ち上げなどの中心となる人や団体がわからない

●その他

- ・ 推進会議（プロジェクトメンバー）の今後の位置付けを明確化すべき
- ・ 今回出た意見や今後出てくる意見はちゃんと反映されるのかが不安

<当日の様子>

・ 受付時



・ 開会（挨拶等）



・ プロジェクト概要説明



・ ホール施設見学



・グループワーク～発表



・閉会挨拶

